

第6回上郡町福祉大会



皆さんの参加と連帯が町の福祉を育てます

2月22日(土)、上郡町社会福祉協議会による第6回福祉大会が、中央公民館で開催されました。

式典で福祉に長年貢献された方や団体に表彰が贈られたあと、井本辰夫社会福祉協議会理事より「『住民みんなでささえあうまちづくり』の実現をめざす」との大会宣言が行われました。講演会では女優の石井めぐみさんが、障害を持つ子どもを生み育て、亡くした経験から、障害者にやさしい街と人について話されました。



町の災害対応について学ぶ上中学生

阪神淡路大震災から8年目を迎えた1月17日(金)、上郡中学校では、体育館に全校生徒が集まり、黙禱のあ

と、震災ビデオ鑑賞や被災児童の作文朗読などを行い震災の悲惨さを知り、防災意識を高める学習会が開かれました。

また、2月15日(土)には、赤松公民館で高齢者21名の参加のもと、県警スタウス隊による高齢者交通安全教室が行われました。

この前日には、相生警察署で、車の事故が多発する



赤松公民館での交通安全教室

国道2号線の「死亡事故抑止対策会議」が開かれ、会議中、今後の道路環境整備や巡回、警戒の強化について約束がなされました。

第6回福祉大会を盛大に開催

みんなでささえあう町をめざして

雨上がりの2月23日(日)、上郡町子ども会連絡協議会主催の駅伝大会が高田小学校の周辺道路をコースに行われました。

各小学校で1年生から6年生までの6名1組でチームを編成し、代表出場とオープン参加で集まった女子16チーム、男子17チームが、総延長9・2kmのコースを

保護者や関係者の声援を受けながら全力で駆け抜けていました。

結果は次のとおりです。

女子優勝	山野里A
準優勝	高田A
3位	上郡A
男子優勝	船坂A
準優勝	高田A
3位	赤松A



女子チーム、第1走者スタート!

自分の命を、生活を守るために

町内各地で防災と交通安全の取り組み

2月23日(日)、中央公民館大ホールにおいて人権教育研究大会「社会教育部会」が開かれ平成14年度校区指定の船坂校区自治会、老人会、婦人会、幼小・中PTA6団体による2年間の取り組みが発表されました。

種々のふれあい活動や社会奉仕活動などにより、地域内で充実した世代交流が

行われていること、体験学習や豊かな親子のコミュニケーションが子どもを健やかに育てていくことなどを楽しい寸劇を交えながら和やかに報告されました。



船坂小学校児童によるアトラクション

町内各小学校の代表選手が力走

高田小学校で子ども会駅伝大会

子どもたちの歓声響く新園舎

統合・赤松幼稚園が竣工



3園の統合により完成を迎えた赤松幼稚園



▲アトラクションでは園児が民舞「荒馬」を披露

赤松地区の苔縄で昨年9月から建設工事が進められていた赤松幼稚園園舎が、2月20日に完成し、3月1日(土)、あいにくの雨の中、地元自治会をはじめ、幼稚園、工事関係者などにより、竣工式が行われました。

公民館と小学校に隣接する約2817㎡の敷地に建てられた園舎は、木造の明るく温かい雰囲気のある平屋建てで、保育室2室、遊戯室、図書室、職員室、預かり保育室などが配置されています。



新しい保育室で豚汁とお餅をいただきました▶

これまで赤松地区の幼稚園は赤松、大枝、岩木の3つの園に分かれていましたが、園舎の完成により統合し、全20名の園児が4月までの間、新園舎に通園することになりました。

体質改善はバランスのよい食事から

男性だけのヘルシークッキング



「味つけはどうだったかな」レシピをみながらクッキング

2月21日(金)、中央公民館の調理実習室では、保健センター主催による5回にわたる講座「男性だけのヘルシークッキング」が最終日を迎え、11人の男性が自分たちで調理した料理を前に、バイキングパーティーが行われていました。

当日のメニューは、手羽先のオイスター煮や白菜とベーコンのスープなどの5品で、参加者は、三浦栄養

士の説明や助言を受け、塩加減や火の通り具合を気にしながら調理しました。

割り当てられたすべてのメニューを作り終え、立食パーティーの準備が整ったところで講座の感想を求められた参加者は、「皆さんと料理をするうちに、作ることに、食べることの楽しさを感じることができた。家庭でも台所に立つておやじの味を作っていきたい。」「健康な生活を送るには栄養や塩分に気配りをして、生活にも注意していかなければならないことが分かった。」「来年も開催してもらえたら、ぜひ参加したい。」などの意見を述べていました。

和が輪を広げる地域づくり

人権教育研究大会で船坂校区が実践発表

船坂小学校児童によるアトラクション